

岐阜県立土岐商業高等学校

校 長 正 村 達 裕
学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1
電 話 0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校 学校評議員会（第2回）

2 会議の構成（敬称略／50音順）

委員	犬 塚 和 世	元土岐商業高校育友会役員
	田 口 力	東海旅客鉄道（株）土岐市駅長
	竹 下 啓 太	名古屋工学院専門学校メディア学部部長
	土 本 典 良	土岐市土岐口財産区議長
	土 屋 早百合	土岐地区更生保護女性会理事

学校側	校 長	正 村 達 裕
	教 頭	原 祐 一
	事 務 長	老 田 晃 聖
	教 務 主 任	村 橋 昌 則
	生徒指導主事	中 澤 正 仁
	進路指導主事	水 野 智恵美
	教務部（記録）	若 尾 昌 彦

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 平成29年12月5日(火) 13:30 ～ 15:00

場 所 土岐商業高等学校校長室

出席者 委員5名 学校側7名 計12名が参加

*校長の挨拶後、本校の教育について説明し、意見交換を行った。

5 会議の概要

テーマ（1）：本校の教育について（本年度の成果と課題）

各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部）より、外部評価アンケートの結果を踏まえて本年度の成果と課題についての説明を行った。その主な内容は下記のとおりである。

（1）教務部

（ア）基礎的・基本的な学力の定着

①生徒の家庭学習に対する実態把握

学力の定着について、昨年度から定期考査前の2週間、家庭学習調べを行っている。

以前に比べ、平均時間は増加している。後期中間考査についても、集計途中ではあるが平均時間としては少しずつ増加している。

ただし、3年生に関しては、進路決定後、極端に学習時間が減少しているという結果が出ているため、その対策が課題である。3年生には、折に触れて話すなどして、目的意識を持たせたい。

学習時間の確保に対して各教科とも取り組んでおり、学力の向上を図り、将来の進路実現につなげていってほしいと考えている。

②職員全員による生徒参加型授業の研究

生徒参加型の授業の研究のため、11月に1週間かけて、全職員で研究授業を行った。

③資格取得状況

資格取得の状況について、昨年度は全商3種目1級合格者が116名であった。本年度は11月15日現在で84名合格、この後もビジネス文書検定、簿記検定などがあるため、100名を超える見込みである。

昨年度の3種目1級合格者数は、全国でのランキングで24位である。生徒はよく健闘しており、本年度も1級3種目100名合格を目標にしながら頑張ってくれている。

（イ）積極的な広報活動の展開

①高校説明会

今年度も多治見・土岐・瑞浪の3市にて本校の学校説明を行った。

②中学校の学年会に参加

本年度から中学校の学年会に教頭と教務主任が参加し本校の説明を行った。中学校の先生からは、保護者からの質問にも答えられるようになったと好評であった。来年度も継続したいと考えている。

③中学生1日体験入学

東濃地区の中学生が昨年度に比べ100名近く減少している中、昨年度よりも100名近く多い参加者があり、本校に対する期待の大きさを感じた。これを入試につなげたいと考えている。

④岐阜県ふるさと教育週間

多治見・土岐・瑞浪の3市の中学校に案内を出し、中学校からは親子で28名の参加があった。

ただ、本校の保護者の参加がなかったため、これに対しては今後も工夫が必要である。

⑤中学生保護者訪問

8校から269名の参加があった。

⑥東濃西部地区公立学校合同説明会・相談会

2名の生徒が代表で発表した。

(ウ) 特色ある学校・学科作りの推進

来年度は商業科目「課題研究」に、国語科教員を一人加え、表現力の向上や4年制大学希望者の小論文指導などのための講座の開講を計画している。

(エ) 校務の効率化と情報の共有

e-教務の活用により進路関係手続や成績処理等の校務が円滑に行われている。

(オ) その他

本年度、産振棟に40台のパソコンが整備されたため、教育用の環境も整ってきた。

(2) 生徒指導部

(ア) 交通事故の現状について

11月現在で6件の事故があった。そのうちの2件については保護者の送迎中の事故であり、他の4件のうち3件は自損事故、1件は交差点での接触事故であった。

年間を通して交通安全集会や交通安全講話を実施しており、年明け1月のLHRでも交通安全についての全校統一LHRを予定している。

(イ) 遅刻について

昨年度の遅刻者は延べ195名であった。本年度はそれ以下を目標にしているが、10月時点で104名であり、昨年同時期の99名に対して若干増えている。

進路決定後、3年生に遅刻傾向がみられるので、残り少ない学生生活を大事にするよう呼びかけながら、遅刻を減らしていきたいと考えている。

(ウ) 身だしなみ・挨拶について

昨年までは毎月実施していた身だしなみ指導を、本年度から隔月での実施とした。

昨年に比べて指導回数は減らしたが、一方で、校門で登校する生徒を迎える回数を増やした。生徒指導部長は毎日、各学年などは曜日で割り振り、生徒の様子を見るようにしてきた。

現在のところ大きな乱れはなく、今後も身だしなみよく登校、生活できるようにしていきたい。

(エ) 問題行動の現状について

11月末現在で5件の問題行動があった。特に1年生にネットやライン、ツイッターを使った誹謗中傷が見られたため指導した。今後、入学当初にオリエンテーションでの指導や、全校生徒対象の情報モラルの講話を充実させていきたい。

(オ) 教育相談の現状について

教育相談アンケートを年間3回(5月・9月・1月)実施している。また、いじめ防止対策委員会を年2回(6月・1月)実施している。

アンケートなどから、いじめを見た、いじめられている、相談したいなどの欄に記載のある生徒全員と面談し、問題の情報を共有し解決に向けて迅速に対応できるようにしている。

(カ) MSリーダーズの活動について

①交通事故防止活動

- ・交通安全強化月間として。街頭にて交通安全の呼びかけを行った。
- ・自転車点検を実施した。

②挨拶運動

- ・生活委員を中心に校門にて実施した。
- ・地域の方と年2回、通学路で実施した。

③環境美化活動

- ・学校周辺の清掃活動を実施した。(1学年、E S S部、家庭クラブ)

④健全育成・非行防止活動

(キ) 部活動の成績について

ウェイトリフティング部、陸上競技部が全国高校総体や国体に参加している。文化系では珠算部、ワープロ部、簿記部、情報処理研究部も東海大会や全国大会にも出場している。本年度は文化系の部活動が非常によく頑張り、ワープロ部が全国大会で上位入賞の成績を収めた。

(3) 進路指導部

(ア) 目標実現に向けた今年度の主な取り組み

外部模試やガイダンス、説明会などを通して、自分の適性を見つけるなど、様々な取り組みを行っている。

年間を通じて小テストやコラムの書き写しなどを行うとともに、3年生には水曜日の朝に時事問題についての研究・小論文の指導を行っている。

(イ) 成果と課題

昨年度から就職希望者が増えており、今年も4割強の生徒が就職を希望している。

今年度も求人が非常に多かったことや、生徒がよく頑張ったことが成果につながっており、内定に対して生徒たちも満足できていると捉えている。

進学については、名古屋市立大学、愛知大学、南山大学、中京大学、名城大学など地元を中心に、ほぼ順調に合格している。一方で、なかなか思い通りに決まらない生徒もおり、これからも継続して指導していく。

(4) 質疑応答

質問1：県内他校の遅刻者数について知りたい。

回答1：遅刻者数については公表されていないので、他校の様子は分からない。学校によってかなり異なると思う。本校では、寝坊や無断での遅刻はほとんどない。

意見1：会社では、遅刻をすると一生の履歴に残ってしまうが、遅刻するものはどうしても遅刻してしまう。生活の乱れが原因だと思われる。

質問2：朝走っているのは陸上部ですか。今朝も5時半ごろに走っていた。真っ暗な中で走っているの、反射の付いたものを着けて走ってもらおうと安全だと思う。

回答2：対応を考えていきたい。

質問3：土岐商は国公立大学の推薦枠を持っていますか。

回答3：国公立大学については独自の枠があるというわけではなく、商業高校生しか受けられない推薦入試制度を利用し受験しています。

質問4：国公立大学合格はかなり難しいのでしょうか。

回答4：専門高校生を対象とした推薦入試に毎年挑戦しているが、入試問題が難しいことと、年によっては倍率も変化しており、なかなか受からない年もある。

また、遠方の大学には出願しない傾向があり、なかなかチャレンジしない。

質問5：土岐商に通っている生徒は、就職にしても進学にしても自宅から通いたいという生徒が多いということですが、実際に外へ出ていく生徒は少ないのですか。

回答5：地域を広げればチャンスも広がると思いますが、実際には自宅から通いたいという生徒や保護者の考えが反映されてしまう。

この傾向は本校だけのものではなく、他校でも同じような傾向がみられる。

意見3：自分の子供も土岐商を卒業して、外へ出て強く生きていると感じている。親元から離れて生活してこそ得るものがあると感じたので、少し残念に思いました。

質問6：学校のホームページの作成は先生が行っているのですか。

回答6：教務部の中で2人が担当している。現在、来年度に向けて新ホームページを作っている。

質問7：生徒はホームページの更新に携わらないのか。

回答7：入試等の情報もあるので、生徒には更新作業に携わらせていない。

質問8：一部でも生徒が携わるものがあると、中学生などに語り掛けるものがあるのではないか。

回答8：生徒会の行事などの掲載については今後検討してみたい。

テーマ（2）：意見交換

意見1：昨年、土岐商は希望者が少ないと聞いていて残念に思っていたが、今年は体験入学や見学に来る中学生が増えた聞きほっとしている。部活動での結果が認められているのではないか。

特に部活動は高校生にとって特別で大切なものである。人生において困難に直面した時に、部活動で培った力が糧となり乗り越えられることがある。指導方法について考えることは必要だが、ある程度厳しいことは大切である。

意見2：JRさわやかウォーキングに、毎年協力していただきありがとうございます。

本年度、JRに6名も内定し、素晴らしいと思う。昨年度入社したのも活躍してくれている。OBも遅刻することなく頑張っている。

在校生にも、今から生活態度正しく生活して、遅刻だけは無いようにしてほしい。

意見3：体験入学等に来る中学生が増えたということはいずれもうれしい。全ての面で学校が良くなって

いることが影響している。しかし、交通事故があるとすぐに評判は悪化する。これまで大きな事故がないことは先生方の指導の賜物だと考える。

また、遅刻が一日1人というのはすごい。資格取得の状況も素晴らしい。岐阜県の商業教育は日本でもトップであると言われており、その中でも頑張っているところが素晴らしい。

ホームページについては、スマートフォン対策をするとよいと思う。そうすれば中学生やその保護者にももっと閲覧してもらえるのではないか。

意見4：昨年の7月に挨拶デーがあるため、財産区の役員に声をかけたところ、全員（10名）が参加した。

また、頭髪指導に関するニュースが話題になっているが、登校時に土岐商の生徒を見ると、女生徒に染めている者はいなさそうである。長い歴史の中で、良い指導が受け継がれている。

意見5：南陵祭を見に来た。どの生徒もすぐに挨拶してくれ、先生の対応もよかった。部活動と勉強の両立が大変な中、ステージなどよくやったと感心した。

6 会議のまとめ

ホームページのスマートフォン版を作成するといいいというご助言や、生徒の様子、マナーについて、たくさんのご意見を頂戴した。

本年度の評議員会は今回で終わりですが、何か気づいたことがあれば、学校へ連絡をしていただくとありがたい。

本日はお忙しい中ありがとうございました。